

# かつらぎ みち 葛城の道

【葛城第二十二経塚(水越多和)】  
【葛城第二十三経塚(俱尸羅)】

## 田園風景ののどかな 葛城の道を歩いて 2つの経塚と役行者誕生の地へ

大和葛城山の麓は、古代史が彩る地で、葛城の道が整備されている。古い時代には、大和葛城山だけではなく金剛山も含めて葛城山(葛木山)と呼んだ。金剛山の山裾にある第二十二経塚を選択し、葛城の道を散策する。少し距離は離れるが、役行者が誕生したという茅原の吉祥草寺にも足を延ばそう。

名柄バス停で下車して山の手に向かう。道なりに進み、国道を横断して関屋集落に入る。山裾に沿って進むと、集落の外れに葛城水分神社がある。葛城第二十二経塚の大田和地蔵は、水越川を挟んだ向かいの山中にあるので、ここから選択しよう。

葛城水分神社からもと来た道に戻り、名柄の集落に入る。旧家の中村家住宅まで来たら、あとは葛城の道の道標を頼りに歩くことができる。一言主神社の石鳥居の角で左に折れ、参道を「いちごんさん」で知られる葛城一言主神社へ。一言主は葛城一帯の地主神で、古事記のほか、役行者の物語にも登場する。一言だけ願いを聞いてくれるという信仰がある。

次に山裾を歩いて九品寺へ。裏にある千体石仏で有名な寺だ。このあたりからのどかな田園風景となり、大きな石に刻まれた六体地藏石仏まで続く。葛城第二十三経塚は、六体地藏石仏のある十字路を北へ直進したところにある。地藏寺跡といわれ、町中にあるだけに掃き清められている。五輪塔が経塚とされている。六体地藏石仏が第二十三経塚との説もある。

六体地藏石仏に戻り、近鉄御所駅に向けて下っていこう。途中には鴨山口神社がある。近鉄御所駅まで来たら信号を渡り、直進、JR線手前で右に折れ、小ぢんまりした商店街を抜け左折する。御所まちの古い町並みを抜けて吉祥草寺へ。帰りは玉手駅に近い。

歩行距離 ◆ 約15km  
歩行時間 ◆ 2時間55分

体力レベル ☆☆☆  
登山レベル ☆☆☆

コースタイム



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

